

# Sports Fukushima

スポーツふくしま

45  
2022.3

(公財)福島県体育協会 〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階  
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなで  
スポーツを!  
Let's play sports together!





## 共に豊かなスポーツライフを

皆様には、日頃より本県のスポーツの推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私は令和3年度より専務理事を拝命いたしました。スポーツ推進のために微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年より世界的に感染拡大している新型コロナウイルス感染症は、新たな遺伝子に変異しながら未だに多くの影響をもたらしております。令和2年度のスポーツ界は多くの大会が中止され、スポーツに関わるすべての人々にとって辛く、悲しい年となってしまいましたが、令和3年度は鹿児島県に続き2年連続で三重県での国民体育大会が中止となったものの、全国高等学校総合体育大会や全国中学校体育大会、各競技団体の日本選手権等は開催され少し安堵したところです。

さて、1年延期された「復興五輪」東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。令和3年3月末から聖火リレーが本県のJヴィレッジをスタートし121日をかけて全国47都道府県を回りましたが、県内では3日間の日程で26市町村においてランナーが聖火をつなぎました。7月には、本県の県営あづま球場において開会式に先立ちソフトボール競技が開催されるとともに、その後野球競技が行われ、両競技共に本県での勝利を皮切りに金メダルを獲得しました。

本県出身・ゆかりのアスリートは、オリンピックには16名、パラリンピックには4名と過去最高の出場が叶い、バドミントン競技混合ダブルスに出場した渡辺勇大選手・東野有紗選手が銅メダル、車いすバスケットボール競技に出場した豊島英選手が銀メダル、車いすラグビーに出場した橋本勝也選手が銅メダルと、4名がメダルを獲得しました。これまで東京2020大会を目指して努力したアスリート、支えてこられた監督・コーチ、そして関係団体や御家族の皆様にご心より敬意を表します。

東京2020大会は、バブル方式での感染症対策やほとんどの競技会場が無観客となる前例のない大会となり

ました。開催には賛否両論はあったものの、出場したアスリートの決して諦めない戦いぶりや、開催へ感謝を伝える姿、その他マスク等を通じた対応などから、スポーツの持つ価値が再認識されました。間近に試合を見ることや関係イベントに参加する機会がほとんど無く、前回の東京大会を経験している方々の話を聞くたびに残念でなりませんが、それでも多くの感動と思い出を残した今大会のレガシーをしっかりと伝えていかなければなりません。今大会は「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」の3つの基本コンセプトで開催されていますが、我々にはオリンピック・パラリンピック開催を契機としてスポーツ活動への関心の高まりを福島県の競技の普及や発展にどうつなげるか、スポーツ界に何を残していくかなど宿題が与えられています。

今年3月、県では、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」を施策の柱として新たな県スポーツ推進基本計画が策定されました。東京2020大会が終わり、新スポーツ推進基本計画が策定された今、本県におきましても大会の開催決定により様々な事業や強化対策が行われてきた成果と課題を踏まえつつ、そのレガシーを継承し、スポーツの価値をさらに高める新たな時代の幕開けとなります。

一日でも早く新型コロナウイルス感染症の影響が終息し、誰もが安全・安心にスポーツ活動ができるようお願いしながら、基本的な感染対策の徹底や「新しい生活様式」の実践・定着を図るとともに、子どもから大人まで身近な地域で自身の生活の中にスポーツを取り入れ、豊かな生活を送ることができるよう今後も本県のスポーツの推進に取り組んでまいります。



公益財団法人福島県体育協会  
専務理事 滝田 勝彦

も

P1 巻頭言

く

P2 東京2020オリンピック・パラリンピック関連情報

じ

P4 第77回 国民体育大会冬季大会関連情報

P7 福島県体育協会 表彰式

P9 ふくしまスポーツキッズ発掘事業

P11 スポーツふくしまライジングプロジェクト  
「トップコーチ養成事業」

P12 ふくしまゴルフプロジェクト

P13 スポーツ医事・トレーニング相談事業/  
アンチ・ドーピング教育・啓発事業

P14 公益財団法人日本スポーツ協会公認  
コーチ1・コーチ2養成講習会

P15 福島県スポーツ指導者研修会(更新研修会)

P16 福島県体育協会認定  
スポーツ栄養士スキルアップ講習会

P17 福島県体育協会認定  
アスレティックトレーナースキルアップ講習会

P18 福島県スポーツ少年団関連情報

P19 日本スポーツ協会公認  
アシスタントマネジャー養成講習会

P20 総合型地域スポーツクラブ紹介

P21 福島県 東京2020オリンピック関連情報

P22 賛助会員名簿/福島県体育協会名称変更について

【表紙写真説明】 表彰式 第77回国民体育大会冬季大会  
左1段目:受賞者代表謝辞  
左2段目:アイスホッケー  
右2段目:スケート2000mR  
左3段目:クロスカントリースキー  
右3段目:ジャイアントスラローム  
右4段目:ソフトテニスコーチ2養成講習会  
右1段目:キッズチャレンジ  
左4段目:スナッグゴルフ教室  
JSPC公認コーチ2養成講習会  
ふくしまスポーツキッズ発掘事業  
ふくしまゴルフプロジェクト



# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連情報



(令和3年度公益財団法人福島県体育協会表彰式時の写真)

コロナ禍により、1年延期となり、東日本大震災並びに原発事故から10年となる節目の年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、見る人にも多くの感動や勇気・希望を与えてくれました。また、「復興五輪」を大会理念に掲げ、福島の復興をアピールする絶好のチャンスともなった本大会は、Jヴィレッジから始まった聖火リレーやソフトボール・野球競技の本県開催、そして福島県ゆかりの選手の活躍により、より一層人々の記憶に残る素晴らしい大会となりました。「ふくしまプライド」を胸に、県民の元気や勇気につながればと熱い気持ちを抱いて一生懸命戦っていただいた選手の皆さん、本当にありがとうございました。これからの活躍も応援しています！

## 本協会アスリート指定事業ゆかりの東京オリンピック出場選手



山内 大夢  
(陸上競技/早稲田大学)



山下 潤  
(陸上競技/ANA)



桃田 賢斗  
(バドミントン/NTT東日本)



東野 有紗  
(バドミントン/日本ユニシス)



渡辺 勇大  
(バドミントン/日本ユニシス)



近内 三孝  
(ウエイトリフティング/日大職員)



皆川 博恵  
(レスリング/クリナップ)

○陸上競技：  
相澤 晃 (旭化成)

○ハンドボール：  
笠原 謙哉 (トヨタ車体)

## 表敬訪問の様子

大会終了後には、東京2020オリンピック競技大会のウエイトリフティング種目(男子67キロ級)に出場し7位入賞を果たされた近内三孝選手(日本大学職員、田村高等学校卒業)と、レスリング種目(フリースタイル女子76キロ級)に出場し5位入賞を果たされた皆川博恵選手(クリナップ所属、福島県レスリング協会)が表敬訪問に来ていただきました。以下は両者からのコメント

近内選手「自分の思うような結果ではなかったが、県民の皆様の声援を受け入賞することができた。普段の試合では関係者が声援を送ってくれるが、オリンピックでは競技を知らない人からも応援していただいた。多くの人が支えてくれるからこそ立てる特別な舞台だと感じ、とても貴重な経験ができた。3年後のパリオリンピックでは、今回の悔しさを糧にメダル獲得を目指し、県民の皆様のためにもより一層頑張っていきたい。」

皆川選手「大会は、自分の思うような結果ではなかったが、コロナ禍で開催に批判もあった中で応援して下さった県民の皆様のご存在は本当に心強かったし、とてもありがたかった。」

オリンピックの舞台に上がるまでに、これまで幾多の困難を乗り越えてこられた近内・皆川両選手の活躍に多くの感動と勇気をいただきました。本当にありがとうございました。



(近内・皆川 両選手の表敬訪問時の写真)

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 福島県関係選手 試合結果

| 本協会アスリート指定事業ゆかりの東京2020オリンピック出場選手 9名 |            |                            |
|-------------------------------------|------------|----------------------------|
| 氏名(所属) : アスリート指定期間                  | 出場競技       | 主な大会結果                     |
| 東野有紗(日本ユニシス) : H26～R 2              | バドミントン     | 混合ダブルス 銅メダル●               |
| 渡辺勇大(日本ユニシス) : H26～R 2              |            | 混合ダブルス 銅メダル●<br>男子ダブルス 第5位 |
| 桃田賢斗(NTT東日本) : H29～R 2              |            | 男子シングルス 出場                 |
| 近内三孝(日大職員) : H26～R 2                | ウエイトリフティング | 男子67kg級 第7位                |
| 皆川博恵(クリナップ) : H28～R 2               | レスリング      | 女子76kg級 第5位                |
| 山下 潤(ANA) : H26～R 2                 | 陸上競技       | 男子200m 出場                  |
| 山内大夢(早稲田大学) : H30～H31               |            | 男子400mH 準決勝 出場             |
| 相澤 晃(旭化成) : H29                     |            | 男子10000m決勝 出場              |
| 笠原謙哉(トヨタ車体) : R 2                   | ハンドボール     | 出場                         |

| 本県出身・ゆかりの東京2020オリンピック出場選手 7名 |       |                                       |
|------------------------------|-------|---------------------------------------|
| 氏名(所属)                       | 出場競技  | 主な大会結果                                |
| 宮田悠佑(和歌山県教育センター学びの丘)         | カヌー   | スプリント男子カヤックフォア500m<br>準々決勝 出場         |
| 新田祐大(日本競輪選手会)                | 自転車競技 | トラック 男子ケイリン準決勝 出場<br>トラック 男子スプリント 出場  |
| 金子広美(イナーメ信濃山形)               |       | 女子個人ロードレース 出場                         |
| 松元克央(セントラルスポーツ)              | 水泳    | 競泳男子200m自由形 出場<br>競泳男子4×200mフリーリレー 出場 |
| 遠藤 純(日テレ東京Vベレーザ)             | サッカー  | 第8位                                   |
| 三宅史織(INAC神戸レオネッサ)            |       |                                       |
| 菅澤優衣香(三菱重工浦和レッズレディース)        |       |                                       |

| 本県出身・ゆかりの東京2020パラリンピック出場選手 4名 |               |                                 |
|-------------------------------|---------------|---------------------------------|
| 氏名(所属)                        | 出場競技          | 主な大会結果                          |
| 豊島 英(株式会社WOWOW)               | 男子車いすバスケットボール | 銀メダル●                           |
| 橋本勝也(三春町役場)                   | 車いすラグビー       | 銅メダル●                           |
| 半谷静香(トヨタグループ)                 | 柔道            | 女子48kg級 第5位                     |
| 佐々木真菜(東邦銀行)                   | 陸上競技          | 女子400m T13 第7位<br>女子100m T13 出場 |

本協会では、県内スポーツの競技力向上を目的として下記の事業を実施しました。

(1) Jクラスアスリート指定(H28～R 2)

○日本代表を目標にしている実績のある21歳以上の本県出身・ゆかりのアスリートを指定し、国際的な競技力の向上を図る事業

H28 : 32名 H29 : 39名 H30 : 30名 R元 : 25名 R 2 : 10名

(2) 夢アスリート指定(H26～R元)、ネクストアスリート指定(R 2～R 3)

○今後の活躍や将来の日本代表入りを目標とする15歳から20歳の本県出身・ゆかりのアスリートを指定し、国際的な競技力の向上を図る事業

H26 : 40名 H27 : 67名 H28 : 67名 H29 : 76名 H30 : 65名 R元 : 62名 R 2 : 20名 R 3 : 20名

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、本強化支援事業にかかわる多数の選手の活躍も見られ、大変嬉しく思います。本協会では、継続してこれからもアスリートを支援してまいります。





## 第77回 国民体育大会冬季大会成績

第77回国民体育大会冬季大会「いちご一会とちぎ国体」(スケート・アイスホッケー競技会)・「美の国あきた鹿角国体2022」(スキー競技会)が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症防止対策に万全を期すため、開始式の制限や中止、大会観戦の制限や無観客、参加者全てに対し事前のPCR検査や会期中の抗原検査の実施など、コロナ禍で大会を開催すべく様々な取組みが施された新たな形での大会となりました。

選手の皆様においては、練習環境の制限等に加え、徹底した体調管理や予防対策の励行など本大会を迎えるまでに多くの課題を乗り越えてこの戦いの舞台に挑まれたことに敬意を表します。そして、大会本番ではどの競技においても気持ちのこもった熱気溢れるプレーを見せていただき、結果以上にこれからにつながる大会となりました。これからも「ふくしまプライド」を胸にさらに頑張っていってほしいと思います。福島県選手団の皆様ありがとうございました。

### ① 参加状況

| 大会   |                       | 区 分 | 会 期                     | 開催地            | 団 長   | 参 加<br>競技数 | 派遣人数 |    |    |    |
|------|-----------------------|-----|-------------------------|----------------|-------|------------|------|----|----|----|
|      |                       |     |                         |                |       |            | 役員   | 監督 | 選手 | 合計 |
| 冬季大会 | スケート競技会<br>アイスホッケー競技会 |     | R4.1/24(月)<br>～ 1/30(日) | 栃 木 県<br>日 光 市 | 佐藤 英壽 | 2          | 8    | 3  | 31 | 42 |
|      | ス キ ー 競 技 会           |     | R4.2/17(木)<br>～ 2/20(日) | 秋 田 県<br>鹿 角 市 | 玉川 武  | 1          | 6    | 3  | 33 | 42 |

### ② 競技成績

| 大会            |  | 天 皇 杯 |      |      |     | 皇 后 杯 |      |      |     |
|---------------|--|-------|------|------|-----|-------|------|------|-----|
|               |  | 競技得点  | 参加得点 | 得点合計 | 順 位 | 競技得点  | 参加得点 | 得点合計 | 順 位 |
| ス ケ ー ト 競 技 会 |  | 3点    | 10点  | 13点  | 29位 | 3点    | 10点  | 13点  | 24位 |
| アイスホッケー競技会    |  | 0点    | 10点  | 10点  | 11位 | —     | —    | —    | —   |
| ス キ ー 競 技 会   |  | 0点    | 10点  | 10点  | 27位 | 0点    | 10点  | 10点  | 19位 |
| 合 計           |  | 3点    | 30点  | 33点  | 32位 | 3点    | 20点  | 23点  | 27位 |

### ③ 入賞状況

#### ●スケート競技 競技得点 3点 天皇杯 29位 皇后杯 24位

| 種 別     | 種 目         | 順位 | 得点 | 選 手 名 | 所 属       |
|---------|-------------|----|----|-------|-----------|
| 成 年 女 子 | スピード 2000mR | 6  | 3  | 安田 彩夏 | 八戸学院大学 2年 |
|         |             |    |    | 清水 凜  | 早稲田大学 1年  |
|         |             |    |    | 木田 綾音 | 山梨学院大学 4年 |
|         |             |    |    | 秋山 光希 | 山梨学院大学 3年 |



## 第77回国民体育大会を終えて

スケート競技(スピード) 旗手 山梨学院大学 4年 木田 綾音

私は栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」に出場させていただきました。国体出場は今回で7回目となりましたが、大学生になってからは個人・団体リレー共に入賞が無く「今年こそは入賞し福島県への貢献、そして支えていただいている方々への恩返しを」という強い気持ちで挑みました。

私は成年女子1000m・2000mRに出場しました。2日目に行われた1000mでは予選落ちをしてしまいました。責任先頭を完了することができ、そこで大学三年間見失っていた国体のレース感を取り戻すことができ「リレーは絶対決勝に行ける」と強く自信をつけることができました。大会3日目リレー予選では初めてのメンバーでしたが小学校時代から一緒に練習に取り組んできた仲間を信じ合いレースに挑みました。その結果、成年女子全員の気持ちが一つになり他県のアクシデントなどもあり決勝進出することができました。決勝が決まった瞬間は福島県チーム全員と一緒に喜んでくれて改めてチーム福島の温かさを感じることができました。最終日決勝レースでは5位から8位の順位決定戦に回りましたが一つでも上の順位をということで予選以上にリレーメンバーが最大限の滑りをし、運も味方につけて6位入賞という結果を収めることができました。今大会は中々福島県チームとしてポイントを得ることができていない中リレー入賞でポイントを獲得することができただけではありますが県へ貢献することができ嬉しく思います。

スケートを通してたくさんの出会いに恵まれ本当に感謝しています。私がここまでスケートを通じてこれたのは福島県体育協会の皆様をはじめ、先生方、応援してくれたたくさんの方々のおかげです。来年以降も大好きな福島県に貢献できるよう日々精進していきます。本当にありがとうございました。



## いちご一会とちぎ国体を終えて

スケート競技(スピード) 郡山北工業高等学校 2年 増子 知希

私は今回の第77回国民体育大会が初めての国体出場でした。新型コロナウイルスの影響で、国体の応援が制限される中で競技が行われました。

春からの陸上トレーニングでは、スピードスケートに必要な筋力向上のためのウエイトトレーニングや、登坂ダッシュやロードバイク等で心肺を鍛えるトレーニング等をして身体の強化をしてきました。

国体では500mと1000mに出場し、得意のスタートダッシュで前に出ようとしたが力及ばず予選敗退となってしまいました。500mと1000mのどちらも自己ベストを出すことができたので、次の大会に向けて更に努力を続けていきたいと思っています。

今後タイムを上げていくために、ひざを柔らかく使って氷にさらに力を伝えられるように気をつけて練習していきたいです。

来年は少年男子として最後の参加ができる年齢になります。来年の目標は国体という舞台で決勝に残り、悔いのないレースをすることです。今大会の悔しさを胸に更なる練習と経験を積んで堂々とスタートラインに立てるよう、今まで以上の努力と技術の向上を目指していきたいと考えています。福島県体育協会や福島県スケート連盟の皆様、日々ご指導をいただいている先生方に感謝の気持ちを忘れず、これからも日々練習に励んでいきたいと思っています。



## いちご一会とちぎ国体を終えての成果と課題

アイスホッケー競技 監督 水野 英暢

いちご一会とちぎ国体の結果は1回戦滋賀県と対戦し先制をしたものの逆転をゆるし3-2で敗戦し、目標としていたベスト8進出することができませんでした。

アイスホッケー競技の福島県代表の選手構成は関東、関西の大学に通う学生や県外に就職しているふるさと選手と県内で仕事をしている社会人で構成されているため、直前までメンバーが全員揃って練習することが厳しい環境下にあります。従って、チームシステムの浸透をどのように進めるかが一つの課題でした。課題をクリアするために2年前より取り組んだことが、SNSの活用です。LINE、TeamHubというアプリを活用し、チームシステムの資料を共有、及び練習試合等を行った際は、ビデオフィードバックをSNS上で行い、遠方の選手へも内容の共有を行いました。

昨年の愛知国体は新型コロナの影響を受け大会参加を自粛しなければならない選手が多数出たためやむなく出場辞退という結果となってしまい今年にかけの意気込みは各選手たちから熱く感じられました。

また、今大会もコロナ禍で職場らの出場許可が出ず参加を取りやめた選手も数名出て初戦の滋賀県戦までに一度もベストメンバーで練習をすることができませんでした。

しかし、チームシステムの浸透を図れたことにより、福島県の規律あるプレーを実行することができ、チームシステムもはまり、自分たちのペースで試合を運ぶことができました。欠場選手もいたこともあり、後半体力が落ち始め不用意なミスから得点を重ねられてしまい目標達成には至りませんでした。

今大会を通して、チームシステムの浸透の部分はSNSを活用することで導入当時よりもより一層成果を得ることができました。次年度は新型コロナの収束を願いつつ、選手各々の体力強化を含めたトレーニングに取り組みをしベスト8以上の結果を残せるようにアプローチをかけていきます。福島県をはじめ関係の皆様方の期待に添えるよう取り組みを強化して参りたいと思います。引き続き、ご支援の程よろしくお願いいたします。



## 今大会で感じたこと

スキー競技(クロスカントリー) 茂木スキークラブ 金丸 哲

今大会はコロナ禍で大変な状況の中「第77回国民体育大会」を開催していただきましたことと、私が福島県選手として安心して戦うことをサポートしていただきました関係各位の皆様には大変感謝をしております。

私は成年男子Cのカテゴリーにおいて参加者の最年長として参戦いたしました。今大会は18位で入賞はできませんでした。まだまだトレーニング次第では戦えることを感じました。技術的なことや根本的な基礎体力の底上げが必要だと感じてはいますが一番感じたことは、入賞した選手のほとんどが年間を通して入賞するための意識、トレーニングを真剣に行っている事でした。時間は誰にでも同じです。同じトレーニングで他との差を広げる、縮めるためには日々の意識の差が大きいと感じました。

また強く感じた事は全国の舞台であっても各カテゴリーで年長の選手が以前より強くなっていることです。これは医学、トレーニング等の進歩があると思いますが私にとってやる気、元気が出る事でした。

最後になりますが私の年齢、立場を考えますと福島県の選手育成を考えることが一番だと思っています。今大会は競技得点を取ることができませんでしたが全国の舞台で活躍できる選手が出るように微力ながらサポート、指導を行っていきます。

引き続き福島県スキー選手の応援をよろしくお願いします。



## 鹿角国体を終えて

スキー競技(ジャイアントスラローム) 会津工業高等学校 3年 五十嵐 脩平

私は今回の第77回国民体育大会において、旗手をさせていただく予定でしたが新型コロナウイルスの影響で開会式は中止となり県旗を持つことができませんでした。ですが今年は大会が中止にならず行なわれたことに感謝しかありません。そして、私は1番スタートでかなりチャンスのあるスタート順でしたが、チャンスを掴めず転倒し途中棄権という結果で終わってしまいました。国体の1番スタートという事に対するプレッシャーを感じてしまい、余計に緊張し体が強張り急斜面の入り口で転倒してしまいました。また、先輩方が結果を出しシード権を獲得し私たちの代まで繋げてもらい、私は第1シードの1番スタートというかなりチャンスがあったのにも関わらず、私はチャンスがある中でプレッシャーに負け転倒し結果も出せずシード権を失う形になり、次の代に繋げる事ができませんでした。今シーズン他の大会でもチャンスがある中でそのチャンスを活かした滑りをすることができず、プレッシャーや緊張などを余計に感じ、私自身のメンタルの弱さを痛感しました。プレッシャーや緊張に負けないようにするために今後の雪上トレーニングやオフシーズンの過ごし方をもう1回見つめ直し、感謝の気持ちを忘れずこれからの大会などに向けて頑張っていきます。



クロスカントリー



アイスホッケー



ジャイアントスラローム



スケート競技



スピードスケート 2000mR

# 令和3年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

令和3年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、12月2日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンボリアムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された豊島英選手(車いすバスケットボール)より謝辞がありました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰後の懇談会は行わず、名誉会長と会長との記念写真撮影を行いました。今年度の受賞者は下記のとおりです。(敬称省略)

## スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- |                        |                       |                    |
|------------------------|-----------------------|--------------------|
| ● 佐久間光弘 (福島県テニス協会)     | ● 野地 雅晴 (福島県バレーボール協会) | ● 真鍋 昭由 (相双地域連合会)  |
| ● 小池 征 ((一財)福島県サッカー協会) | ● 齋藤 憲治 (福島県ボウリング連盟)  | ● 柴野 照夫 (いわき市体育協会) |
| ● 福田 敏夫 (福島県スケート連盟)    | ● 一条 高志 (県北地域連合会)     |                    |
| ● 手塚 英勝 (福島県ソフトボール協会)  | ● 堀 悟 (会津地域連合会)       |                    |

## 優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>陸上競技</b><br>● 相澤 晃 (旭化成株式会社)<br>● 松本奈菜子 ((株) 東邦銀行)<br>● 山下 潤 (全日本空輸株式会社)<br>● 山内 大夢 (早稲田大学 (4年))<br>● 大河原萌花 (学校法人石川高等学校 (3年))<br>● 今西 亮太 (福島県立葵高等学校 (2年))<br>● 渡邊 拓実 (二本松市立岩代中学校 (3年))<br>● 星 丞之心 (会津ACジュニア)<br>● 高橋 駿士 (会津若松市立第一中学校 (3年))<br><b>ハンドボール</b><br>● 笠原 謙哉 (ハルズール (アイスランド))<br><b>卓球</b><br>● 岩本 雨郎 (福卓会)<br><b>水泳</b><br>● 寺田 拓未 (ミキハウス)<br>● 齋藤 理子 (スウィン大教スイミングスクール二本松)<br>● 渡部 竣也 (郡山スウィンスイミングスクール)<br>● 今野 介人 (郡山ダイビングクラブ)<br>● 井川 愛斗 (スウィン大教スイミングスクール二本松)<br><b>自転車競技</b><br>● 新田 祐大 (日本競輪選手会福島支部)<br>● 窪木 一茂 (日本競輪選手会福島支部)<br>● 中村 龍古 (中央大学 (3年))<br>● 福地 猛 (明治大学 (3年))<br>● 山崎 歩夢 (福島県立平工業高等学校 (2年))<br>● 高木 海安 (福島県立平工業高等学校 (2年))<br><b>相撲</b><br>● 山田 祥暉 (学校法人松韻学園福島高等学校 (3年)) | <b>バドミントン</b><br>● 渡辺 勇大 (日本ユニシス株式会社)<br>● 東野 有紗 (日本ユニシス株式会社)<br>● 桃田 賢斗 (NTT 東日本)<br>● 武井 凜生 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (3年))<br>● 荻原 聖也 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (3年))<br>● 岩野 混也 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (1年))<br>● 吉田 翼 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (3年))<br>● 齋藤 駿 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (2年))<br>● 杉山 薫 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (3年))<br>● 田部 真唯 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (3年))<br>● 中静 悠斗 (福島県立ふたば未来学園中学校 (2年))<br>● 藤吉 珠李 (福島県立ふたば未来学園中学校 (3年))<br>● 山北 真緒 (福島県立ふたば未来学園中学校 (2年))<br>● 山本 優愛 (福島県立ふたば未来学園中学校 (2年))<br><b>弓道</b><br>● 武藤 胤丸 (福島県立会津学鳳中学校 (3年))<br><b>スキー</b><br>● 谷口 綺穂 (須賀川病院)<br>● 星野 純子 (チームリステル)<br>● 西沢 岳人 (早稲田大学 (4年))<br><b>スケート</b><br>● 秋山 光希 (山梨学院大学 (3年))<br>● 安田 彩夏 (八戸学院大学 (2年))<br><b>ウエイトリフティング</b><br>● 近内 三孝 (日本大学 (職))<br>● 穴戸 大輔 (日本大学 (職))<br>● 遠藤 朱李 (仙台大学 (4年))<br>● 安藤 千鈴 (東京国際大学 (3年)) | ● 君島 一成 (日本大学 (2年))<br>● 遠藤 梨李 (東京国際大学 (2年))<br>● 齊藤 太陽 (福島県立福島工業高等学校 (3年))<br><b>レスリング</b><br>● 皆川 博恵 (クリナップ (株))<br>● 榊 流斗 (山梨学院大学 (3年))<br>● 横瀬 亜美 (福島県立ふたば未来学園高等学校 (1年))<br><b>なぎなた</b><br>● 齋藤 侃駿 (福島県立会津学鳳中学校 (2年))<br><b>ボウリング</b><br>● 大塚 正 (有限会社城南製作所)<br>● 中田 明 (福浜大一建設株式会社)<br><b>カヌー</b><br>● 青木 瑞樹 (自衛隊体育学校)<br>● 小山田香貴 (立命館大学 (1年))<br>● 渡辺 愛生 (同志社大学 (1年))<br>● 島村丸之亮 (二本松市立東和小学校 (4年))<br><b>トライアスロン</b><br>● 長正 憲武 (福島大学 (4年))<br><b>エアロビクス</b><br>● 濱田 陽菜 (トムスポーツアカデミー)<br><b>福島県高等学校体育連盟</b><br>● 先崎 遥 (東日本国際大学附属昌平高等学校 (通信制2年))<br><b>(公財) 福島県障がい者スポーツ協会</b><br>● 佐々木真菜 ((株) 東邦銀行)<br>● 豊島 英 (株式会社WOWOW)<br>● 半谷 静香 (トヨタグループ株式会社)<br>● 橋本 勝也 (三春町役場) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

- |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>陸上競技</b><br>● 第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行<br>● 第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子団体総合 東邦銀行<br><b>ソフトテニス</b><br>● 第65回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 女子団体戦 ダンロップ<br><b>水泳</b><br>● 第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 男子4×50mフリーリレー10歳以下 スウィン大教スイミングスクール二本松 | <b>バドミントン</b><br>● 令和3年度全国高等学校総合体育大会 学校対抗 (団体戦) 男子 ふたば未来学園高等学校<br>● 令和3年度全国高等学校総合体育大会 学校対抗 (団体戦) 女子 ふたば未来学園高等学校<br>● 令和3年度全国中学校体育大会 学校対抗 (団体戦) 男子 ふたば未来学園中学校<br>● 令和3年度全国中学校体育大会 学校対抗 (団体戦) 女子 ふたば未来学園中学校<br><b>弓道</b><br>● 令和3年度全国高等学校総合体育大会 女子団体 橘高等学校 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>陸上競技</b><br>● 吉田真希子 ((株) 東邦銀行)<br><b>卓球</b><br>● 原 晃 福卓会<br><b>バドミントン</b><br>● 齋藤 亘 福島県立ふたば未来学園中学校<br><b>バドミントン</b><br>● 中村 善之 福島県立ふたば未来学園中学校<br><b>バドミントン</b><br>● 本多 裕樹 福島県立ふたば未来学園高等学校<br><b>バドミントン</b><br>● 星 大智 福島県立ふたば未来学園高等学校 | <b>バドミントン</b><br>● 大久保菜摘 福島県立ふたば未来学園高等学校<br><b>弓道</b><br>● 松浦 健人 福島県立橘高等学校<br><b>ウエイトリフティング</b><br>● 渡部 靖 福島県立福島工業高等学校<br><b>トライアスロン</b><br>● 蓮沼 哲哉 福島大学<br><b>福島県障がい者スポーツ協会</b><br>● 天下谷真弓 ((株) 東邦銀行) |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 東山温泉スキークラブ ● 下郷町剣友会

## 特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人およびその指導者

- |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>車いすバスケットボール</b><br>● 豊島 英 株式会社WOWOW<br><b>バドミントン</b><br>● 渡辺 勇大 日本ユニシス株式会社<br><b>バドミントン</b><br>● 東野 有紗 日本ユニシス株式会社<br><b>車いすラグビー</b><br>● 橋本 勝也 三春町役場<br><b>レスリング</b><br>● 皆川 博恵 クリナップ (株) | <b>自転車競技</b><br>● 窪木 一茂 日本競輪選手会福島支部<br><b>柔道</b><br>● 半谷 静香 トヨタグループ株式会社<br><b>ウエイトリフティング</b><br>● 近内 三孝 日本大学 (職)<br><b>陸上競技</b><br>● 佐々木真菜 ((株) 東邦銀行)<br><b>バドミントン</b><br>● 齋藤 亘 福島県立ふたば未来学園中学校 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|





謝 辞  
豊島 英 選手



特 別 賞  
豊島 英 選手



特 別 賞  
皆川 博恵 選手



特 別 賞  
半谷 静香 選手



特 別 賞  
近内 三孝 選手



特 別 賞  
佐々木 真菜 選手



特 別 賞  
齋藤 亘 氏



スポーツ功労賞  
一条 高志 氏



優秀選手賞(個人)  
寺田 拓未 選手



優秀選手賞(団体)  
東邦銀行 (代表 武石 この実 選手)



優秀指導者賞  
天下谷 真弓 氏



社会体育優良団体賞  
東山温泉スークラブ (代表 三星 芳喜 氏)



スポーツ功労賞及び社会体育  
優良団体賞を受賞された方々



当日の様子



当日の様子



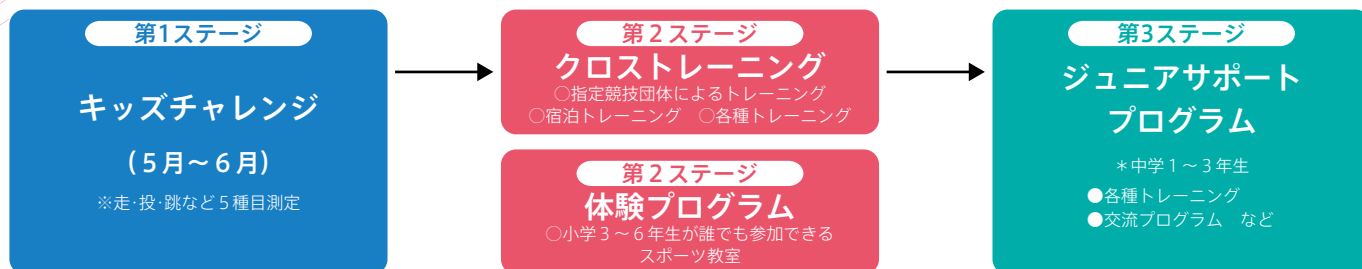
# 集まれ!!未来のアスリート

～公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業～

## ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、前年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しています。

### 【事業の流れ】



### 第1ステージ ◆ キッズチャレンジ ◆

令和3年度の第1ステージキッズチャレンジは、5月～6月にかけて県内5会場計8回実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により会場会場のみに中止となりました。

#### ●キッズチャレンジの内容(5種目実施)

- 25m走
- 四方向ステップ
- 反復横跳
- 膝立ちボール投げ
- 立五段跳

#### ●会場・実施日・参加人数

| 開催地区 | 実施日      | 会場         | 備考  |
|------|----------|------------|-----|
| 県南   | 5月15日(土) | 白河中央体育館    |     |
| 相双   | 5月30日(日) | ならはスカイアリーナ |     |
| いわき  | 6月5日(土)  | いわき市総合体育館  | 2部制 |
| 県中   | 6月12日(土) | 郡山市西部第二体育館 | 2部制 |
| 県北   | 6月20日(日) | 川俣町体育館     | 2部制 |
| 会津   | 中止       | 鶴ヶ城体育館     |     |

1回の定員35名とし、5会場8回実施した。



反復横跳



25m走



四方向ステップ



立五段跳



膝立ちボール投げ

### 第2ステージ ◆ クロストレーニング ◆

第1ステージで選考された40名のキッズが参加した第2ステージクロストレーニングは、9月の開始式が延期となり10月から活動が始まりました。

バスケットボール競技と体操競技、宿泊トレーニングは中止となりましたが、12月の修了式までに全5回の活動を行いました。

各種トレーニングの内容については、普段学校の授業ではなかなか触れることのできない競技種目が多く、参加したキッズは目を輝かせながら活動しました。

| 日程        | 種目                 | 主管団体         |
|-----------|--------------------|--------------|
| 10月10日(日) | アイスホッケー            | 福島県アイスホッケー連盟 |
| 10月17日(日) | スポーツクライミング         | 福島県山岳連盟      |
| 10月24日(日) | ボート                | 福島県ボート協会     |
| 11月21日(日) | フェンシング             | 福島県フェンシング協会  |
| 12月19日(日) | スプリントトレーニング<br>修了式 | 県体協(外部指導者招聘) |



開始式



アイスホッケー



スポーツクライミング



ボート



フェンシング



スプリントトレーニング



修了式



## 第2ステージ ◆ 体験プログラム ◆

第2ステージ体験プログラムについても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一部プログラムを中止しましたが、8回のプログラムを実施しました。

例年、県内の小学3～6年生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

| 日 程        | 種 目     | 主管団体         |
|------------|---------|--------------|
| 10月2日(土)   | フェンシング  | 福島県フェンシング協会  |
| 10月23日(土)  | トライアスロン | 福島県トライアスロン協会 |
| 10月30日(土)  | 銃剣道     | 福島県銃剣道連盟     |
| 11月3日(祝水)  | トランポリン  | 福島県トランポリン協会  |
| 11月6日(土)   | スケート    | 福島県スケート連盟    |
| 11月7日(日)   | アイスホッケー | 福島県アイスホッケー連盟 |
| 11月13日(土)  | 相撲      | 福島県相撲連盟      |
| 11月23日(祝火) | ソフトテニス  | 福島県ソフトテニス連盟  |



アイスホッケー



スケート



ソフトテニス



トライアスロン



トランポリン



フェンシング



銃剣道



相撲

## 第3ステージ ◆ ジュニアサポートプログラム ◆

第3ステージジュニアサポートプログラムは一部の活動を中止しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら3回のプログラムを実施しました。令和2年度までに選考された中学1～3年生までのジュニア28名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。今年度も、東海大学の宍戸渉氏を招聘しスポーツメンタル講義を実施しました。

| 日 程       | 種 目                          | 主管団体         | 会 場 |
|-----------|------------------------------|--------------|-----|
| 10月17日(日) | 開始式<br>コーディネーション<br>トレーニング   | 県体協(外部指導者招聘) | 郡山市 |
| 11月21日(日) | スポーツメンタル<br>トレーニング           | 県体協(外部指導者招聘) | 福島市 |
| 12月19日(日) | スポーツメンタルトレーニング<br>栄養学<br>修了式 | 県体協(外部指導者招聘) | 福島市 |



開始式



コーディネーション



コーディネーション



スポーツメンタル



スポーツメンタル



栄養学



修了式



修了式



## スポーツふくしまライジングプロジェクト

# 「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰ

### ● コーチングスキルⅠ研修

「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰ コーチングスキルⅠ研修が令和3年6月23日（水）13時30分よりリモート研修会として行われました。筑波大学客員教授の勝田隆先生をお迎えし、『「信」と「頼」に向き合う ～これからの時代を生きる（支える）ために求められること スポーツを通して～』との演題で御講義をいただきました。

県体育協会が指定するトップコーチ8名が参加し、対話型の講義形式で行われました。勝田先生から紹介された「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない。（サッカー・フランス代表元監督ロジェ・ルメール氏）」との言葉を受け、トップコーチからは指導者自身が学び続ける必要性について強く感銘を受けたという感想が多く寄せられました。



勝田先生と県体協指定のトップコーチ

### ● パフォーマンスアップ研修

スポーツふくしまライジングプロジェクト「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰパフォーマンスアップ研修兼福島県体育協会指導者研修を令和3年11月15日（月）13時15分よりリモートで開催し、県体育協会が指定するトップコーチ10名と各競技団体の指導者18名の計28名が参加して行われました。

福島大学教授の川本和久先生からは「勝利への伴走者／コーチングを考える」との演題で御講義いただきました。また、会津大学准教授の沖和砂先生からは「選手に寄り添う指導者になるために」との演題で御講義をいただきました。

川本先生の講義を受講した参加者からは「ほめる・叱る・教えることを大事にして、選手の成長を促したい」という感想を多くいただきました。川本先生の情熱ある講義から、多くの学びや刺激を受けることができました。また、沖先生の講義を受講した参加者からは、「自分自身の指導を見直すきっかけになり、聴く姿勢を大事にして選手に寄り添った指導をしていきたい」との声をいただきました。



経験豊富な川本先生の講義

### ● コーチングスキルⅡ研修

スポーツふくしまライジングプロジェクト「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰ コーチングスキルⅡ研修を令和4年2月7日（月）13時30分よりリモートで開催しました。

筑波大学客員教授の勝田隆先生をお迎えし「良き闘いを続ける鍵」との演題で御講義いただきました。

講義の前半は、勝田先生の問いに対して受講者が自らの考えを述べ、講義の後半では、受講者同士で質問をしあい、各々の競技に対する思いや考えを共有し交流を深め、様々な気づきを得ることができました。

【受講者の感想より一部抜粋】

- ・「人生にとって大切なことは圧倒的勝利を挙げるのではなく、もがきながら努力することである」という言葉から、失敗しても何度でも挑戦し努力を怠らないことが大切だと気づくことができました。
- ・「間を大切にすること」という言葉から、コーチングの中で人間・仲間・時間・空間などの「間」を意識しながら、選手・スタッフ・関係者の方々と活動していこうと思いました。



指導力を向上させる勝田先生の講義



# 『ふくしまゴルフプロジェクト』

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高等学校出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成事業」を実施しました。

## 高等学校出前講座

ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組むとして、高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施しました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習を通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学びました。

【令和3年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校】



## スナッグゴルフ教室

子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

【令和3年度実施団体：西郷村立川谷小学校、もとみやスポーツネットワーク】

## ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和3年度は、県南管内の小学生、中学生22名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。



## 指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図ってまいります。



## スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により相談員・講師を派遣しています。また、FAXやメールによる相談も受け付けています。

相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、スポーツ栄養士部会員、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響より実施回数や実施規模は縮小となりましたが、感染拡大防止対策を講じながら6月からスタートし、令和4年3月上旬現在までに計22回実施することができました。講義内容では、「筋力トレーニング」「スポーツマッサージ」「テーピング」「スポーツと栄養」に加え、今年度は「スポーツ心理学」や「アンチ・ドーピング」についての講義依頼も多くありました。令和4年度も本事業は継続して実施しますので、ぜひ御気軽に御相談ください。※申込み詳細はHPをご覧ください。

開催日：7月10日（土）

依頼団体：大玉村スポーツ少年団本部

場所：大玉村民体育館

テーマ：「柔軟性の確認とバランストレーニング」

講師：県体協認定アスレティックトレーナー

梅津 芳正 氏

参加者：73名（大玉村スポーツ少年団員・保護者・指導者）

開催日：12月18日（土）

依頼団体：福島県ドッジボール協会

場所：宝来屋郡山市総合体育館

テーマ：「スポーツにおける食事と健康」

講師：県体協認定スポーツ栄養士

蓮沼しおり 氏

参加者：27名（JSPO資格取得を目指す地域のスポーツ指導者等）

### 内容 講師派遣の 例

### 講義

- スポーツ外傷・障害の基礎知識
- スポーツと栄養
- アンチドーピング
- スポーツ心理学
- 女性に対するスポーツ指導
- けがの応急処置など

### 実技

- ストレッチング
- ウォーミングアップ・クールダウン
- スポーツテーピング
- スポーツマッサージ
- 筋力トレーニング（体幹トレーニングなど）



【活動の様子】

### 【申し込み方法】

相談員・講師を希望する場合は、下記の連絡先まで御連絡ください。

（講師に係る経費は本協会が負担します。）

また、過去の相談例、派遣依頼の様式等は本協会HPでもご覧いただけます。

（公財）福島県体育協会 TEL：024-521-7896 FAX：024-521-7971

E-mail：info@sports-fukushima.or.jp

URL：https://www.sports-fukushima.or.jp

## アンチ・ドーピング教育・啓発事業

ドーピングは、スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、薬物の習慣性から社会的な害を及ぼすばかりか人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせ、国民の健康的な生活や未来を担う青少年に対して悪影響を及ぼします。そこで、本協会では、アスリートをはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、本協会スポーツ医・科学委員会と福島県スポーツファーマシスト協会の協力ののもとに様々な啓発活動を実施しています。

### ①アンチ・ドーピングリーフレット等の配布

本協会では、毎年9000部のアンチ・ドーピングリーフレットを作成し、本協会に加盟する全57加盟競技団体・中体連及び高体連事務局、その年の東北総体及び国民体育大会に出場する全選手、認定AT、認定スポーツ栄養士、各種講習会でのスポーツ指導者等への配布を行っています。その他にも、日本スポーツ協会からの「使用可能薬リスト」等の関連教材の配布も行っています。

\*リーフレットは本協会のホームページからもダウンロードできます。

### ②アンチ・ドーピング相談窓口の設置

アスリートが、身近な「薬やサプリメント」等の疑問について、スポーツファーマシスト（薬剤師）に相談できるよう、県内には本協会と連携した69カ所の相談窓口があり、どなたでも気軽に電話相談することができます。連絡先等の詳細は本協会ホームページから確認できます。また、FAXでの相談も受け付けています。

### ③アンチ・ドーピング研修会の実施

本協会では、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発する目的でアンチ・ドーピング講習会を実施しています。令和3年度は、前年度の国体選手を対象に実施したアンケートの結果をもとに、アンチ・ドーピングの意識が低い少年種別を中心に研修会を実施することとしており、各競技団体が独自で研修会を実施するか、または、本協会からスポーツファーマシスト（講師）を派遣して実施することができます。こちらも各競技団体からの依頼であれば、県内どこにでも講師を派遣することができます。

### アンチ・ドーピング研修会を実施しました！

令和3年8月19日（木）には、福島県バレーボール協会からの依頼を受け、郡山北工業高等学校の男子バレー部員30名を対象に、アンチ・ドーピング研修会を実施しました。スポーツファーマシストの細田知寛氏を講師に迎え、約60分の講義を行いました。本協会で作成した「アンチ・ドーピングリーフレット」や日本スポーツ協会からの「アンチ・ドーピング使用可能薬リスト2021年版」等を活用し、主に「ドーピング検査」「うっかりドーピング」「サプリメントを活用する際の注意点」等の正しい知識について学びました。

受講後の生徒や顧問の先生の感想では、「うっかりドーピングは身近に起こり得る問題で気を付けたいと思った。」「アンチ・ドーピングについては、深く学ぶ機会が少ないため大変貴重な研修となり、今後もこうした研修の機会を作ることの重要性を感じた。今回の研修を生かし、アンチ・ドーピングへの意識を高めるとともに、フェアプレイの精神を心掛けながら今後の活動に取り組んでいきたい。」といった感想がありました。

本協会では、こうしたアンチ・ドーピング啓発に向けた取組を今後も継続して行っています。各競技団体で、講師を派遣する研修会の実施を希望される場合は、本協会まで御連絡ください。



【講師：細田知寛 氏】



【リーフレットを活用しながら真剣に学ぶ参加者の様子】





## 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域17種類の資格を設け、多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

## 公認スポーツ指導者資格の種類

## ①スポーツ指導者基礎資格

- ・コーチングアシスタント  
(旧：スポーツリーダー)

## ②競技別指導者資格

- ・スタートコーチ
- ・コーチ1(旧 指導員)
- ・コーチ2(旧 上級指導員)
- ・コーチ3(旧 コーチ)
- ・コーチ4(旧 上級コーチ)
- ・教師
- ・上級教師

## ③メディカル・コンディショニング資格

- ・スポーツドクター
- ・スポーツデンティスト
- ・アスレティックトレーナー
- ・スポーツ栄養士

## ④フィットネス資格

- ・フィットネストレーナー
- ・スポーツプログラマー
- ・ジュニアスポーツ指導員

## ⑤マネジメント指導者資格

- ・アシスタントマネジャー
- ・クラブマネジャー

## 「公認スポーツ指導者」だからこそ、できる



上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関すること、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネジャー養成講習会の運営(今年度は集合講習会を実施)、スポーツ少年団でスタートコーチ養成講習会の運営(今年度はオンライン講習会を実施)を行っています。

競技別指導者資格においては、今年は各競技団体との連携のもとにコーチ2養成講習会を実施しました。この資格は、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する者を養成することをねらいとする資格です。今年は、水泳、ソフトテニスの2競技で開催し、それぞれ5日間におよぶ講習会を実施しました。受講者の方々はいずれも高い志を持ち、真剣かつ楽しみながら積極的に活動し、自己の指導力の向上に繋げるべく実技や講義に取り組んでおられました。ぜひ、専門科目Ⅱ(本集合講習会)及び共通科目Ⅱの両方を合格され、来年度の10月からコーチ2の資格取得者として、これからより幅広く社会に貢献できる地域のスポーツ指導者として活躍されることを期待しています。

## 講習会の様子(水泳コーチ2)

カリキュラム：

専門科目：40時間以上(集合講習及び自宅学習)

日程・場所：集合講習会

- ①令和3年11月12日(金)～14日(日)  
本宮市民プール・本宮第一中学校体育館
- ②令和3年11月20日(土)～21日(日)  
本宮市民プール・本宮第一中学校体育館



## 講習会の様子(ソフトテニスコーチ2)

【カリキュラム】

専門科目：40時間以上(集合講習及び自宅学習)

日程・場所：集合講習会

- ①令和3年11月21日(日)  
ルネサンス棚倉
- ②令和3年12月4日(土)～5日(日)  
富岡町総合スポーツセンター
- ③令和3年12月18日(土)～19日(日)  
ルネサンス棚倉



## 令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会について

令和4年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに令和4年5月上旬に掲載予定です。

コーチ1(5競技)：山岳・水泳・ソフトボール・バレーボール・バドミントン      コーチ2(1競技)：卓球・(共通科目Ⅱ)

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会「指導者マイページ」に掲載されています。これから新たに指導者資格の取得を目指す方はもちろん、既に指導者資格をお持ちの方もぜひ日本スポーツ協会「指導者マイページ」の登録をお願いします。指導者マイページを利用すると、本県で開催される講習会以外にも全国各地で行われている講習会情報の取得や申込みが可能です。(登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。)

→指導者マイページ(日本スポーツ協会)について (<https://www.sports-fukushima.or.jp/coach/>)



## 令和3年度 福島県スポーツ指導者研修会（更新研修会）

福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会（更新研修会）を実施しています。この研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格を更新するための研修も兼ねており、今年度は第1回を県北地区で開催しました。（第2回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

### 第1回県北地区研修会

**開催日**：令和3年11月14日（日）

**場所**：ナショナルトレーニングセンター J-VILLAGE

**参加者**：70名

**講師**：（1）小野 覚久 氏（足利短期大学こども学科准教授）

**内容**：講義Ⅰ スポーツ指導方法

「暴力・反倫理的行為の根絶のために」

（2）渡部 琢也 氏（会津大学短期大学部講師）

講義Ⅱ アクティブ・チャイルド・プログラム

～東日本大震災10年を経過して、福島の子どもたちの体力・健康づくりのために～



【小野 覚久 講師】 【渡部 琢也 講師】 【比佐 功 会長】 【塩田幸男 理事長】

本講習会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、人数を制限して実施しました。はじめに主催者を代表して福島県スポーツ指導者協議会の比佐功会長からあいさつがあり、続いて塩田幸男理事長から講習会の概要や資格更新についての説明がありました。

講義Ⅰでは、小野覚久講師から、スポーツ指導方法「暴力・反倫理的行為の根絶のために」をテーマに、指導者としての規範意識の持ち方や子どもの特性を踏まえた指導方法、言葉の使い方による子どもへの影響、暴力・反倫理的行為の根絶のための指導者としての在り方などについて、講師の体験を交えた講話や「コーディネーショントレーニングの必要性・導入方法や実践のポイントについて」の説明がありました。

講義Ⅱでは、渡部琢也講師から「アクティブ・チャイルド・プログラム ～東日本大震災10年を経過して、福島の子どもたちの体力・健康づくりのために～」をテーマに、子どもが発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムについての講話がありました。加えて、体組成の知識を用いた中高年の運動プログラムについて、実際に自己の体組成を調べながら、さまざまな年代の体力・健康づくりにつながる運動実践についての知識を深めました。

参加された指導者の皆さんは、資格の更新のためだけではなく、自分自身の指導力向上につなげようと積極的に学んでいました。ぜひ、この学びを今後の指導に生かし、常に学び続ける姿勢を大切にしながらこれからも福島県のスポーツ発展に御尽力いただきたいと思います。



【講義Ⅰの様子】

## 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格関連情報

### 新型コロナウイルス感染拡大に伴う2022年10月1日付更新登録に関する取り扱いについて

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本スポーツ協会より特例措置が出されております。該当する方は日本スポーツ協会のホームページを御確認ください。

【下記は日本スポーツ協会HPから抜粋】

#### ■対象者

●資格有効期限：2022年9月30日

●資格の種類：以下の資格・競技を除くすべての資格・競技

#### 【対象外の資格・競技】

競技別指導者資格【水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック（コーチ4のみ）、チアリーディング（コーチ3のみ）、スクーバ・ダイビング、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー】

※対象外の資格に関する詳細は、ホームページをご覧ください。

※資格を複数保有している方は、資格によって要件が異なる場合があります。

#### ■対応

上記の対象者については、所定の更新研修の受講状況に関わらず、2022年10月1日付の登録手続きの対象といたします。

本来必要な所定の研修を修了できずに登録される方におかれましては、「資格取得後も学び続ける」という更新研修の目的に鑑み、今後、研修会が受講可能になり次第、積極的に研修を受講いただくことをお願いいたします（2022年9月30日まで、もしくは、次回の有効期間中に、今回の未受講分の研修を受講することを推奨いたしますが、義務とはいたしません）。

#### ■今後の手続き

通常の登録手続きを行ってください。上記対応に伴って追加で発生する手続きはございません。

#### 【スケジュール】

●2022年7月下旬～8月上旬頃、更新登録手続きのご案内を郵送にて（指導者マイページを保有している方にはメールでも）お送りいたします。

●2022年9月30日までに手続き（登録料の入金等）を完了してください。

●2022年10月1日から資格が更新（再登録）され、後日、登録証（・認定証）をお送りします。

▽詳細は、こちら

新型コロナウイルス感染拡大に伴う2022年10月1日付更新登録に関する取り扱いについて（2021/12/1時点）

スポーツ指導者に関するお知らせ-JSPO (<https://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid884.html?itemid=4383>)



## 令和3年度福島県体育協会認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会

この講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師、スポーツ愛好者や競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担当する県体協認定スポーツ栄養士のスキル向上を図ることを目的としており、県内各地から本協会の認定スポーツ栄養士11名が集まりました。

**日程・場所** 令和3年7月11日(日) 福島県青少年会館

**講師・テーマ** (1) 沖 和砂氏(会津大学文化研究センター准教授・スポーツ健康科学博士)  
 講義Ⅰ：「スポーツ選手のやる気を引き出すスポーツ栄養士としての関わり方について」  
 (2) 八巻裕介氏(福島県スポーツ課指導主事)  
 講義Ⅱ：「スポーツの現場から(剣道競技)～スポーツ栄養士に期待すること～」  
 (3) 北島ゆかり氏(日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士・福島県体育協会認定スポーツ栄養士)  
 演習：「競技別栄養サポートについて(剣道競技)」



(あいさつ：中村啓子部会長)



(講義Ⅰ：沖 和砂氏)



(講義Ⅱ：八巻 裕介氏)



(演習：北島 ゆかり氏)



(真剣に学ぶ受講者の様子)



昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、徐々に再開されはじめたスポーツ活動を支えるスポーツ栄養士のスキル向上のため、今年度は感染防止対策を適切に講じながら講習会を開催しました。講習会では、はじめに本協会認定スポーツ栄養士部会長の中村啓子氏からあいさつをいただきました。その後、午前中は、会津大学文化研究センター准教授・スポーツ健康科学博士の沖和砂氏から「スポーツ選手のやる気を引き出すスポーツ栄養士としての関わり方について」の講義をいただき、午後は、福島県スポーツ課指導主事の八巻裕介氏から「スポーツの現場から(剣道競技)～スポーツ栄養士に期待すること～」をテーマにした講演と、福島県体育協会認定スポーツ栄養士・日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の北島ゆかり氏から「競技別栄養サポートについて(剣道競技)」の演習を行っていただきました。

講師の先生方には、それぞれの立場から、スポーツ選手とスポーツ栄養士の関わり方について分かりやすく話をしていただき、受講者も真剣に話を聞いたり、お互いの意見や情報交換を積極的に行ったりしながら自己のスキルアップに取り組む姿が見られました。受講後の感想には「スポーツ栄養士としてだけではなく、普段の業務の中でも大いに役立つ内容だった。やる気を引き出す関わり方はこちらから積極的にチャンスを見逃さず働きかけることが大事だと感じた。」「剣道についての理解が深まり、サポート意欲につながった。機会があれば剣道競技のサポート活動に携わりたいと感じた。また、スポーツ栄養士としての哲学など自分自身を見つめる良い時間にもなった。」「高校部活動サポートの流れを具体的に分かりやすく教えていただき大変参考になった。部活サポートの流れを今後の活動につなげていきたい。」といった感想がありました。

受講者の皆様には、本講習会での学びを生かし、コロナ禍においても自身ができるサポート活動について主体的に考えながら、それぞれの現場でより一層御活躍されるとともに、本県スポーツの発展に力を発揮していただければと思います。

※剣道指導者から寄せられた食事・栄養に関する質問に対して、本協会認定スポーツ栄養士が回答した一部内容を本協会ホームページに掲載しております。広くスポーツ活動全般に生かせる知識・情報となっていますのでぜひご覧ください。

・スポーツ栄養士からのアドバイス(剣道競技編)  
 →スポーツ医・科学委員会(アスレティックトレーナー部会・スポーツ栄養士部会・スポーツドクター部会)  
 一公益財団法人福島県体育協会ウェブサイト(sports-fukushima.or.jp)

① 食事と継続できる身体づくりのために必要な食事メニューや習慣づくりについて

身体づくりのために必要な栄養素を表現するために、毎食取り入れていただきたいものとして、基本は「バランスの主食、主菜、副菜」が可能であれば、野菜、乳製品、汁物です。しかし、これを毎食そろえることは二通りの食事へのハードルを上げしてしまうことになります。

まずは簡単に……

主食から「米・小麦、パン、麺、シリアル」  
 主菜から「肉、魚、鶏、豆腐、大豆、豆製品、卵、海藻類」  
 副菜から「野菜、豆製品、卵、海藻類」  
 汁物から「味噌汁、スープ、シリアル」

また、一番重要なのは、それを習慣づけて食べることです。練習日誌に記入のみ記載する習慣があれば、主食、主菜、副菜、汁物、牛乳を食べてくれる人へのサポートもできます。

こつこつ(骨、骨)食べて、骨折予防

日本スポーツ協会が推奨しているカルシウム摂取量は、年齢・性別によって異なります。骨質を強化するためには、毎日カルシウムを摂取することが大切です。

【カルシウムの食事摂取基準(推奨量)の目安】

| 年齢(歳)  | 12～14 | 15～17 | 18～29 | 30～49 | 50～69 | 70以上 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 男性(mg) | 1000  | 800   | 800   | 800   | 700   | 700  |
| 女性(mg) | 800   | 800   | 800   | 800   | 800   | 800  |

骨の成分＝カルシウムの多い食品  
 乳製品、大豆製品、小魚、野菜類

カルシウムの吸収を高めるビタミンD  
 魚介類(鮭、イワシ、サケ、マグロ)、干しいたけ、キノコ類などのきのこ類

日光浴でビタミンDを吸収

カルシウムの吸収を阻害する食品  
 ★リン  
 インスタント食品、スナック菓子、炭酸飲料など  
 ★食塩  
 漬物、加工食品、手羽など

ホームページ掲載内容の一部抜粋



## 令和3年度公益財団法人福島県体育協会認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会

令和3年11月27日(土)・28日(日)、福島県青少年会館において、令和3年度公益財団法人福島県体育協会認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会を開催しました。本講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師、競技者・スポーツ愛好者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する県体協認定アスレティックトレーナーのスキルの向上を目的としており、隔年ごとに実施しています。昨年度アスレティックトレーナー養成講習会を受講した9名に加え、スキルアップを目指す県認定アスレティックトレーナー7名の合計16名の受講者が県内各地から集まりました。開講式では、渡邊和之部会長(県体協スポーツ医・科学委員)からあいさつをいただき、その後新型コロナウイルス感染症対策のもと、2日間をかけ6コマの講義が行われました。

## 講師・内容

## 【1日目 11月27日】

- ① 鬼澤 武則 氏  
(県体協スポーツ医・科学委員・  
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー)  
「スポーツテーピング」
- ② 佐藤 善嗣 氏  
(県薬剤師会スポーツファーマシスト)  
「アンチ・ドーピング」
- ③ 會澤 寿 氏  
(日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・  
県体協認定アスレティックトレーナー)  
「トレーニングを組み立てる」



① 鬼澤 武則 氏



② 佐藤 善嗣 氏



③ 會澤 寿 氏



④ 鳴原 智彦 氏

## 【2日目 11月28日】

- ④ 鳴原 智彦 氏  
(県体協スポーツ医・科学委員・  
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー)  
「けがの応急処置」
- ⑤ 武藤 真紀 氏  
(日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士・  
県体協認定スポーツ栄養士)  
「スポーツと栄養」
- ⑥ 関根 智美 氏  
(県体協認定アスレティックトレーナー)  
「コンディショニングストレッチ」



⑤ 武藤 真紀 氏



⑥ 関根 智美 氏

本講習会はアスレティックトレーナーとしてのスキルを高めるために、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士、県薬剤師会所属のスポーツファーマシスト、県体協スポーツ医・科学委員等の6名を講師に迎え、それぞれの専門的知見から講義をしていただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、座学による講義を中心としながら他との接触を避けた実技プログラムを行いました。受講者は熱心に講師の話に耳を傾けたり、自己の体を使って学びを深めたりするなど積極的に取り組みました。

受講された16名には、今後福島県アスレティックトレーナー部会の活動や研修会を通して、競技力向上や生涯スポーツの振興に努めていただきたいと思います。



【講習会の様子】



## 令和3年度福島県スポーツ少年団の登録状況

| 登録団数 | 指導者数   | 役員数  | スタッフ数  | 団員数計    |
|------|--------|------|--------|---------|
| 927団 | 3,590名 | 316名 | 1,921名 | 18,648名 |

## ◇男子

| 幼児  | ～小3    | 小4～小6  | 中学生    | 高校生以上 | 計       |
|-----|--------|--------|--------|-------|---------|
| 95名 | 2,869名 | 6,516名 | 2,639名 | 174名  | 12,293名 |

## ◇女子

| 幼児  | ～小3    | 小4～小6  | 中学生    | 高校生以上 | 計      |
|-----|--------|--------|--------|-------|--------|
| 80名 | 1,464名 | 3,156名 | 1,475名 | 180名  | 6,355名 |

### 令和3年度 文部科学大臣表彰

## ◇生涯スポーツ功労者（2名）

| No. | 支部名 | 氏名    | 所属団体名               |
|-----|-----|-------|---------------------|
| 1   | 県北  | 高麗 正博 | 蓬莱ミニバスケットボールスポーツ少年団 |
| 2   | 会津  | 岩橋香代子 | 会津若松市スポーツ少年団        |

### 令和3年度福島県スポーツ少年団表彰

## ◇功労者（7名）

| No. | 支部名 | 氏名    | 所属団体名               |
|-----|-----|-------|---------------------|
| 1   | 県北  | 齋藤 正光 | 川俣ジュニアフレンズスポーツ少年団   |
| 2   | 県北  | 堀内田海雄 | 六華ミニバスケットボールスポーツ少年団 |
| 3   | 県中  | 大山 正一 | 美山スポーツ少年団           |
| 4   | 県中  | 渡邊 重吉 | 中郷ソフトボールスポーツ少年団     |
| 5   | 県南  | 久保田勝紀 | 中島バレーボールクラブ         |
| 6   | 会津  | 酒井 靖隆 | 城西スキースポーツ少年団        |
| 7   | いわき | 鈴木 正幸 | クリナップキッズいわきレスリングクラブ |

### 令和3年度日本スポーツ少年団顕彰

## ◇表彰登録指導者（5名）

| No. | 支部名 | 氏名    | 所属団体名           |
|-----|-----|-------|-----------------|
| 1   | 県北  | 池田 信男 | 岡山バレーボールスポーツ少年団 |
| 2   | 南会津 | 齋藤 成  | 南郷スポーツ少年団       |
| 3   | 相双  | 今泉 春雄 | 双葉町スポーツ少年団      |
| 4   | いわき | 橋本 徹  | 梅ヶ香剣友会スポーツ少年団   |
| 5   | いわき | 草野 一夫 | 泉陸上スポーツ少年団      |

## ◇優良団体表彰（6団体）

| No. | 支部名 | 団体名                  | (市町村)  |
|-----|-----|----------------------|--------|
| 1   | 県北  | 湯野バレーボールスポーツ少年団      | (福島市)  |
| 2   | 県北  | 二本松ジュニアソフトテニススポーツ少年団 | (二本松市) |
| 3   | 県中  | 沢石防犯剣道スポーツ少年団        | (三春町)  |
| 4   | 県中  | 郡山西ファルコンズ            | (郡山市)  |
| 5   | いわき | 水石FCSスポーツ少年団         | (いわき市) |
| 6   | いわき | 四倉剣友会スポーツ少年団         | (いわき市) |

## スポーツ少年団指導者の資格について

## ①2019年度、認定員または認定育成員として登録されていた方

|                            |                                      |                |
|----------------------------|--------------------------------------|----------------|
| R5年度までコーチングアシスタントに資格移行手続きを | する 初期手数料 3,000 円<br>資格登録料 10,000/4年間 | 理念ありの指導者       |
|                            | しない                                  | R6年度からは役員・スタッフ |

## ②認定員資格を持っていたが、2019年度に指導者として登録されていなかった方

理念ありの指導者になるには、スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を受講する必要があります。しかし、認定員資格をお持ちだった場合、併せてスポーツリーダーの資格も保有されているので、**令和5年度までは理念なしの指導者**として登録できます。

## ③2019年度認定員または認定育成員とし登録していて、かつJSPO公認スポーツ指導者（競技別）をお持ちの方資格

資格を継続して保有していれば、理念ありの指導者として登録できます。  
※資格移行手続きは必要ありません。

## ④2019年度認定員または認定育成員として登録していて、かつサッカー・バスケットボールC級以上をお持ちの方

資格を継続して保有していれば、理念ありの指導者として登録できます。  
※資格移行手続きは必要ありません。

## ⑤JSPO公認スポーツ指導者資格（競技別）のみをお持ちの方

|                        |                              |           |
|------------------------|------------------------------|-----------|
| スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を | 受講修了し、資格を得る<br>初期手数料 3,000 円 | 理念ありの指導者  |
|                        | 受講しない                        | 理念無なしの指導者 |



ふくしま広域スポーツセンター

# 地域スポーツ活動に関わる人材育成セミナー 公認アシスタントマネジャー養成講習会

令和3年度公認アシスタントマネジャー養成講習会を10月16日(土)・17日(日)の両日にわたり、福島市男女共同参画センター「ウィズもとまち」にて実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回はクラブ関係者のみの参加としました。県内からの8名の参加者は、グループワークにおいて、クラブ立ち上げのシミュレーションを行い、理想的なクラブの創立に向けて意見を出し合うなど熱心に受講していました。

## 1日目 10月16日(土)

### ①クラブマネジャー講話Ⅰ

講師：NPO法人

たまかわ元気スポーツクラブ

ジェネラルマネジャー

鈴木 広美氏

たまかわ元気スポーツクラブの設立から今に至るまでの苦労や取組み、行政との連携や補助金等の活用法を交えながら解説していただきました。



### ②クラブマネジャー講話Ⅱ

講師：NPO法人

かがみいしスポーツクラブ

クラブマネジャー 稲田 俊一氏

クラブの安定運営について、行政との連携・協力、各種教室の設定や地域イベントの企画など、実践を例に挙げた説明がありました。自主財源の確保などこれからの事務局業務に有効な講話をいただきました。



### ③講義・ワーク 「クラブのつくり方」「クラブの運営」

講師：(一社)福島県総合型

スポーツクラブ連絡協議会

理事長 佐藤 靖弘氏

NPO法人かがみいしスポーツクラブの理事長でもある佐藤氏からクラブの設立、運営、経営のレクチャーを受けました。地域や行政との関わりや取組み、総合型地域スポーツクラブの会員の獲得など、多くの事象を紹介していただきました。



## 2日目 10月17日(日)

### ④講義 「クラブの運営」「法人格の取得」

講師：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

主事 橋本 朋美氏

法人格について様々な事例を出し、一連の取組みについて一つ一つ丁寧に解説をしていただきました。法人格の持つ社会的信用や沢山の気付きや発見がありました。



### ⑤講義・ワーク 「クラブマネジャーの役割」

講師：福島大学

准教授 連沼 哲哉氏

クラブを経営するにあたり、様々な分析能力が必要であることをこれからの時代背景や教育機関の移り変わりなどを加味しながら分かり易く解説していただきました。コミュニケーションの大切さを様々な場面の中に学ぶ事ができました。



### ⑥講義・ワーク 「地域スポーツクラブとは」「地域スポーツクラブの現状」

講師：ふくしま広域スポーツセンター

プロジェクトマネジャー

羽根田 一弘氏

福島県における総合型地域スポーツクラブの概要や、クラブを取り巻く環境の変化等を説明し、後半のグループワークでは「スポーツクラブを創ろう!」のワークシートを用いて実際にクラブ設立に向けての計画書を作成しました。



## ★閉講式

今年度は8名の方が受講し、全員が修了されました。滝田勝彦ふくしま広域スポーツセンター長より、総合型地域スポーツクラブにおいて地域に根ざした活動を展開し、明るく活気のある地域づくりの中心となしてほしいとはなむけの言葉が贈られました。



## 受講者の感想 (一部抜粋)

- ・受講者の皆さんがそれぞれの立場で頑張っていることに刺激を受けた。
- ・今回、学び得たことを忘れず、一歩前に踏み出せるように頑張りたい。
- ・会員の皆さんとコミュニケーションを図り、楽しいスポーツクラブにしたい。
- ・クラブの設立、運営に関する現状を知り、クラブの基本的な部分の理解ができた。
- ・ミッション、ビジョンが大切であり、クラブを継続的に運営するためにもクラブの核になる部分をていねいに合意形成する必要があると感じた。
- ・団体の運営に関することなど大変勉強になった。

地域になくてはならないスポーツクラブを目指して！

## NPO法人 かがみいしスポーツクラブ



ドリーム駅伝



B食

「NPO法人かがみいしスポーツクラブ」は、「みんなの笑顔があふれる町づくり」を理念のもと平成21年2月に設立し、現在760名のクラブ会員がそれぞれの目的に合わせて活動しています。

活動は鳥見山陸上競技場等の鏡石町内の体育施設を利用し、健康・趣味・仲間作りを目的とした活動を年間通して行っています。その中で、鏡石町と連携を図り、常に地域のニーズを調査しながら各種教室・イベント等を開催し、地域のスポーツ振興、スポーツ人口の増加、そして地域コミュニケーションの活性化に貢献できるように努めています。

子ども向けの教室は「陸上教室」を中心に多くの子ども達に運動を始めるきっかけづくりや体力向上に向けた教室を開催し、スポーツの楽しさを伝えられるように意識しています。一般向けの教室では、健康増進を図る中で、コミュニケーションの促進(なかまづくり)ができるように取り組んでいます。

また、定期活動以外にも鏡石町と連携したイベントの開催、小学校の体育支援や放課後児童クラブへの運動指導など、地域と連携した事業を実施しています。

設立して13年目となりますが今後もクラブの活動を通して地域を元気にできるようにたくさんの活動を企画運営し、地域になくてはならないスポーツクラブを目指します。



ジュニアスポーツ



折紙



ジュニア陸上



駅伝



ゴミ拾い



テニス



初めてのサッカー



ほぐしヨガ

問合せ

NPO法人 **かがみいしスポーツクラブ**

住 所 〒969-0404

福島県岩瀬郡鏡石町緑町199番地 鏡石町鳥見山陸上競技場内

TEL 0248-62-1600 FAX 0248-62-7651



県営  
あづま球場で

# 東京2020オリンピック 野球・ソフトボール競技開催！



県立福島明成高校の生徒が大切に育てた草花と  
会津坂下町産木材を使用した大型花壇を展示

東京2020オリンピック全競技のトップを飾る試合として、2021年（令和3年）7月21日・22日にソフトボール競技6試合が、7月28日に野球競技1試合が県営あづま球場で開催されました。始球式では県内の中学生たちが登場し、大役を務めました。

福島での試合を勝ち抜いた日本代表の両チームは、決勝戦で強豪アメリカに勝利し、見事金メダルを獲得しました。

| 県営あづま球場での試合結果 |                 |     |  |  |
|---------------|-----------------|-----|--|--|
| 〈ソフトボール〉      |                 |     |  |  |
| 2021年7月21日    |                 |     |  |  |
| 第1試合          | オーストラリア VS 日 本  | 1-8 |  |  |
| 第2試合          | オーストラリア VS イタリア | 2-0 |  |  |
| 第3試合          | カ ナ ダ VS メキシコ   | 4-0 |  |  |
| 2021年7月22日    |                 |     |  |  |
| 第1試合          | カ ナ ダ VS アメリカ   | 0-1 |  |  |
| 第2試合          | 日 本 VS メキシコ     | 3-2 |  |  |
| 第3試合          | オーストラリア VS イタリア | 1-0 |  |  |
| 〈野球〉          |                 |     |  |  |
| 2021年7月28日    |                 |     |  |  |
| 第1試合          | ドミニカ共和国 VS 日 本  | 3-4 |  |  |



野球競技の始球式

## 「ヴィレッジ」から東京2020オリンピック聖火リレーがスタート！



聖火皿から聖火トーチへ点火



第一ランナーのなでしこジャパン

東京2020オリンピック聖火リレーは、2021年（令和3年）3月25日に「サッカーナショナルトレーニングセンター」ヴィレッジ」をグランドスタートし、3月27日までの3日間、59市町村ゆかりのランナーたちが県内26市町村を走行しました。

## 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル開催！



「浜通りの火」採火式



県内集火・出立式

2021年（令和3年）8月12日から8月15日にかけて、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルが開催されました。県内全59市町村が起こした種火を集めて「福島県の火」を作り、東京へ送り出しました。

無観客で開催された聖火フェスティバルを県公式YouTubeにて公開中

各市町村での種火起こしの様子、種火に込められた思いの紹介のほか、採火式、集火・出立式で披露できなかったステージパフォーマンスをぜひご覧ください。



# (公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

## 《法人・団体 特別会員》

会津商工信用組合  
(株)いちい  
いわき信用組合  
(株)インフォメーション・ネットワーク福島  
エクセルツリー(株)  
(株)岡部  
(株)オノヤスポーツ  
(有)カネチヨウ坂本商店  
(株)環境分析研究所  
(株)久野製作所  
クリナップ(株)いわき事業所  
クリヤマ(株)仙台営業所  
(株)クリーンテック  
特定非営利活動法人 J DMA

(医)須賀川セントラル眼科  
住友ゴム工業(株)白河工場  
(株)セントラル住設  
(有)創世福祉事業団  
相双五城信用組合  
相馬共同火力発電(株)  
(株)大東銀行  
(株)ダイユーエイト  
(一財)竹田健康財団  
(株)テレビユー福島  
東亜道路工業(株)福島営業所  
東京海上日動あんしん生命保険(株)  
東京海上日動火災保険(株)  
(株)東邦銀行

東北建設(株)  
(株)トヨタレンタリース福島  
日本全業工業(株)  
(株)二丸屋山商店  
(株)ハニーズホールディングス  
(株)福島銀行  
福島県議会スポーツ振興議員連盟  
福島県ゴルフ連盟  
福島県商工信用組合  
福島県信用保証協会  
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合  
(株)福島中央テレビ  
福島テレビ(株)  
福島トヨタ自動車(株)

(株)福島放送  
(一財)ふくしま未来研究会  
(株)福島民報社  
福島民友新聞社  
福浜大一建設(株)  
公立藤田総合病院  
(株)マルト  
(株)民報印刷  
(株)モリヨシ技研  
山木工業(株)  
(株)ヨークベニマル  
若松測量設計(株)

※他に匿名希望1法人・団体

## 《法人・団体 会員》

(株)会津技研  
(株)アクセラ  
(株)アスク  
(有)吾妻印刷  
(株)アプロガス  
あんしんFPふおあいと  
(株)安藤組  
磐城通運(株)  
(株)ウェディングエルティ  
内池醸造(株)  
(株)海老名建設  
FSGカレッジリーグ  
(株)エフエム福島  
(株)エムケーテック  
(有)エンドースクリーン  
(有)大波商店  
(一財)大原記念財団  
小名浜製錬(株)小名浜製錬所  
(株)加地和組  
菅野建設(株)  
(株)絹川建設工業  
キョウワセキュリオン(株)  
キング印刷(株)  
(株)キスキ  
(株)グラコム  
(株)クラロン

(株)グレイス福島  
(株)クレハ  
(株)クレハ環境  
クレハ錦建設(株)  
(株)幸楽苑ホールディングス  
小勝左官工業(株)  
さかい動物病院  
(株)佐藤商事  
(株)佐藤信博建築設計事務所  
(有)佐平  
(有)三共印刷所  
(株)サンライト  
庄司建設工業(株)  
スポーツメンタルトレーニング  
関場建設(株)  
(株)善邦  
第一温調工業(株)  
大宝建設(株)  
大邦産業(株)  
(株)高橋建設  
タカラ印刷(株)  
月電工業(株)  
月電ソフトウエア(株)  
東栄物産(株)  
東信建設(株)  
東北索道協会福島地区部会

(株)東北装美  
T&C Lab.  
東北電力ネットワーク(株)福島電力センター  
(株)中里工務店  
にいの運送(有)  
日産プリンス福島販売(株)  
(株)NIPPO福島統括事業所  
(有)野地建設  
原町港運送(株)  
東日本テクノロジー(株)  
(有)挽野自動車  
ファーストヘルステック(株)  
(株)ファミリーケア  
福島県剣道連盟  
福島県信用金庫協会  
福島県ダンススポーツ連盟  
福島県バウンドテニス協会  
福島県南土建工業(株)  
(有)フクシマスポーツランド  
(株)福島製作所  
福島日産自動車(株)  
福島訪問歯科医院  
福島ヤクルト販売(株)  
ふくしま陸上スポーツ少年団  
福島リコピー(株)  
(株)福南電気

(株)フジゴルフガーデン  
(公財)藤田教育振興会  
(株)藤野  
(有)古川瓦建材  
北斗印刷(株)  
堀江工業(株)  
(株)マルコ物流  
(株)丸福織物  
(株)丸や運送  
みずの内科クリニック  
(株)三宅新聞店  
名鉄観光サービス(株)福島支店  
(株)メディア・ネットワーク  
(株)本宮会計センター  
(株)ヤスタ創建  
(株)山口芸芸  
山田建築(株)  
山本商事(株)  
(株)友愛  
(株)ラジオ福島  
(株)ル・プロジェクト  
ワイザーエル(株)  
ワタナベカーペット(株)  
※他に匿名希望6法人・団体

## 《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏

## 《個人 会員》

|                                                     |                                                   |                                                               |                                                               |                                                                     |                                                                   |                                                               |                                                               |                                                             |                     |
|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------|
| 穂 本 哲 哉 太 田 豊 秋 小 山 太 郎 穴 戸 正 幸 長 岐 博 星 香 里 森 崎 俊 紘 | 阿 部 正 美 太 笠 原 子 齋 藤 久 柴 野 照 夫 中 島 茂 典 星 薫 結 城 勝 夫 | 安 藤 喜 勝 尾 形 幸 男 坂 本 孝 夫 下 山 田 好 宏 新 井 田 宣 紀 大 明 星 本 文 米 沢 修 志 | 五 十 嵐 義 男 片 平 俊 夫 佐 久 間 光 弘 鈴 木 浩 一 花 井 安 紀 満 田 川 哲 男 渡 邊 正 仁 | 大 橋 哲 義 菅 野 日 出 喜 八 郎 佐 藤 傳 一 鈴 木 義 祐 花 井 紀 家 敬 秀 堀 田 目 秀 雄 渡 辺 正 吉 | 砂 子 田 敦 博 木 村 喜 八 郎 佐 藤 弘 一 鈴 木 義 祐 花 井 紀 家 敬 秀 堀 田 目 秀 雄 渡 辺 正 吉 | 伊 藤 隆 司 国 井 裕 誠 佐 藤 弘 一 鈴 木 義 祐 花 井 紀 家 敬 秀 堀 田 目 秀 雄 渡 辺 正 吉 | 鶴 沼 秀 雄 小 松 信 之 佐 藤 弘 一 鈴 木 義 祐 花 井 紀 家 敬 秀 堀 田 目 秀 雄 渡 辺 正 吉 | 遠 藤 均 小 松 信 之 佐 藤 弘 一 鈴 木 義 祐 花 井 紀 家 敬 秀 堀 田 目 秀 雄 渡 辺 正 吉 | (令和3年2月16日現在) (敬称略) |
|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------|

## 賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

## 賛助会費(年会費)

○個人賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)  
○法人・団体賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)  
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。  
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。  
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

## 問 合 せ

〒960-8043 福島市中町8番2号  
福島県自治会館6階  
公益財団法人 福島県体育協会  
電話 024(521)7896  
FAX 024(521)7971  
E-mail  
[info@sports-fukushima.or.jp](mailto:info@sports-fukushima.or.jp)

## 編 集 後 記 公益財団法人福島県スポーツ協会へ名称が変わります

1. 新名称 現在:公益財団法人福島県体育協会(英語表記:Fukushima Sports Association)  
新名称:公益財団法人福島県スポーツ協会(英語表記:Fukushima Sport Association)
2. 変更時期 令和4年4月1日
3. 変更理由 公益財団法人福島県体育協会は令和4年4月1日より「公益財団法人福島県スポーツ協会」へと名称変更することになりました。  
これまで「体育」という言葉は、スポーツを含む広義の意味で捉えられていましたが、1964年の東京オリンピック以降、「スポーツ」が広く人々や社会に浸透・発展していき、現在では競技として行う「スポーツ」だけでなく、気分転換や健康維持のために行う運動も「スポーツ」として扱われるなど、様々な概念を含むものとなりました。  
また、2011年のスポーツ基本法の施行、2015年のスポーツ庁の設置、2018年の日本体育協会から日本スポーツ協会への名称変更、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、2030年の国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更内定など、社会のスポーツへの関心や期待がますます高まっていく中で、本協会が本県のスポーツを総合的に促進する組織として、より多くの人々のスポーツ参画を促進し、スポーツという文化を後世に継承していくには、本協会の名称を「福島県スポーツ協会」に変更することがよりふさわしいと考えました。



小さな掛金、大きな補償

# スポーツ安全保険®



4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。

## 保険期間

令和4年4月1日午前0時から  
令和5年3月31日午後12時まで

## 保険内容

詳しい保険の内容は、  
ホームページなどをご覧ください。

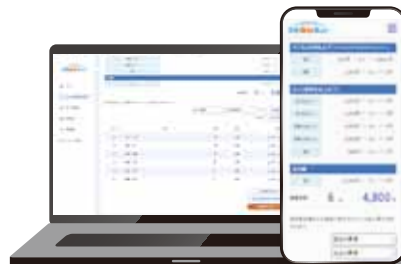
**スポあんネット**  
／ スマホにも対応 ／

だれでも かんたんに 便利に 使いやすく  
全面リニューアル！！

## 加入区分・掛金

| 加入対象者           | 補償対象となる団体・グループ活動                                                | 加入区分                   | 年間掛金<br>(1人当たり) |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------|
| 子ども※<br>(中学生以下) | スポーツ活動<br>文化活動 ボランティア活動 地域活動                                    | A1                     | 800円            |
| 大人<br>(高校生以上)   | スポーツ活動(指導・審判を含む)<br>●A2区分で対象となる活動も補償されます。                       | C<br>64歳以下             | 1,850円          |
|                 |                                                                 | B<br>65歳以上             | 1,200円          |
|                 | 文化活動 ボランティア活動 地域活動<br>準備・片付け・応援・団体員の送迎<br>●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。 | A2                     | 800円            |
| 全年齢             | 危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)                                            | D                      | 11,000円         |
| 子ども※<br>(中学生以下) | 個人活動補償型<br>A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象                           | AW                     | 1,450円          |
| 大人<br>(高校生以上)   | C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象                                       | CW<br>64歳以下<br>WEB加入限定 | 4,850円          |
|                 | B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象                                       | BW<br>65歳以上<br>WEB加入限定 | 5,000円          |

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。  
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和4年4月1日」を基準とします。



## スムーズな掛金支払い



コンビニ、Pay-easyでお好きな  
時間に掛金が支払えます。

## 次年度の手続きがラク



前年度名簿を利用して加入手続  
きが行えます。

## 履歴管理、事故通知も



加入手続の履歴を一元管理。傷害  
保険の事故通知もできます。

**公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部**

TEL **024-526-4600** 電話受付時間 午前9時～12時 午後1時～5時  
(土、日、祝日を除く。)



スポーツ安全保険 検索

**LINE 公式アカウント**



友だち募集中！

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室

☎ 0120-233-801  
(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(令和4年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保